

**FILE No. 11**  
**保健福祉部**

ファイルは全22ファイルあり、**評価表の見方はFILE No. 1-1**にあります。  
 評価結果の一覧は、**FILE No. 1-1、1-2の各課総括表**をご覧ください。  
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

1 / 2

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
こども発達センター	332		施設維持管理等
	333		給食運営
	334		利用者通所バス(たんぼぼ園通園バス)
	335		通園グループ指導(たんぼぼ園)
	336		訓練及び行事
	337		相談
	338		言語心理指導
	339		保健指導
	340		運動機能リハビリテーション
	341		巡回指導
	342		療育講座等
	高齢者活動支援センター(その1)	198	
199			敬老会
200			81歳(半寿)顕彰
202			いきいきサービス
293			高齢者活動支援センター運営・管理
295			電話訪問事業
296			健康・就労相談
297			ゲートボール場運営
298			杉の樹大学
299			公開講座
300			映画会・各種大会
301			季節事業
304			敬老会館施設維持管理及び運営委託

**次のページへ**

高齢者活動支援センター(その2) / 児童青少年センター

**FILE No. 11**  
**保健福祉部**

ファイルは全22ファイルあり、**評価表の見方はFILE No. 1-1**にあります。  
 評価結果の一覧は、**FILE No. 1-1、1-2の各課総括表**をご覧ください。  
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

2 / 2

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
高齢者活動支援センター(その2)	305		わくわく活動
	306		文化事業
	307		健康事業
児童青少年センター	40		善福寺川と友達になろう(21世紀プロジェクト)
	373		少子化対策臨時特例交付金事業(区立児童館・学童クラブ施設整備)
	391		児童青少年センター施設維持管理及び運営
	392		ボランティア活動運営
	393		小菅村交流キャンプ
	394		児童青少年センター事業
	395		子ども家庭支援センター
	396		青少年社会参加活動推進事業
	397		国内交流事業
	398		児童館維持管理及び運営
	399		児童館事業
	400		母親クラブ活動助成費
	401		学童クラブ施設維持管理及び運営
	402		学童クラブ事業

**前のページへ**

高齢者活動支援センター(その1)

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		施設維持管理等				整理番号	332		細番号						
所属部課名		保健福祉部 こども発達センター		コード	93800		連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	335				
係名				管理係				上位施策名			NO				
予算事業名				こども発達センター				コード	32420		障害児の援護の充実			27	
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		9年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期				●無 ○有		平成		年度		(1) 児童福祉法				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他						(2) 杉並区立こども発達センター条例				
											(3) 杉並区立こども発達センター運営要綱				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				建物の維持管理 施設運営に関する事務						活動指標名(式)				
										(1) 保守委託契約件数 (建物設備、電気保安、印刷機、昇降機、自動扉、清掃)					
										(2) 延べ床面積 1,775㎡					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				利用者が安全・快適に利用できるよう、施設を良好な状態に維持する。						成果指標名(式)					
										(1) トラブル発生件数					
										(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												総合的な療育を実施するための環境を整備する。			
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%						
				計画	実績		年度								
指標	活動指標(1)	件	6	6	6	6	6								
	活動指標(2)	㎡	1,775	1,775	1,775	1,775	1,775								
	成果指標(1)	件	2	7	10	12	10								
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	28,772	25,679	26,404	25,337	25,693							
	職員数(正規 非常勤)		人	1.78	1.55	1.55	1.55	1.56	特記事項						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	16,150	14,063	14,063	14,063	14,154							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 ++		千円	44,922	39,742	40,467	39,400	39,847							
	単位あたりコスト ÷		円	7,486,990	6,623,692	6,744,525	6,566,692	6,641,147							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0						
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0	0						
		その他特定財源		千円	28	52	64	54	54						
		特定財源計 ++		千円	28	52	64	54	54						
差引:一般財源 -		千円	44,894	39,690	40,403	39,346	39,793								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		特に変化なし。 利用児推移 平成 9年度...263人、平成12年度...481人												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		障害者団体等に、プール使用の希望がある。												
	今後の予測		年数の経過に伴い、施設の維持管理(保全)経費の増加が予想される。												

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		給食運営				整理番号	333		細番号				
所属部課名		保健福祉部 こども発達センター		コード	93800	連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	336			
係名		たんぼぼ園				上位施策名			NO				
予算事業名		こども発達センター		コード	32420	障害児の援護の充実			27				
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 児童福祉法						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		通園グループ指導事業(たんぼぼ園)在籍児及びその保護者給食指導職員		(2) 東京都障害児施設措置費支弁基準						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		・通園児童への昼食の提供 ・児童の口腔機能に応じた形態の調理 ・摂食指導の実施		活動指標名(式)		(1) 給食提供数						
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		・集団の場での喫食に慣れ、健全な発育に必要な栄養を確保する。 ・口腔機能の向上と食域が広がる。		成果指標名(式)		(1) (代)給食提供数延/対象者延数						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
障害児の食生活に関する発達の機会を提供する。													
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%				
				計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)	食	13,915	15,328	17,078	15,883	17,078						
	活動指標(2)	人	35	35	40	34	40						
	成果指標(1)	%	72	76	85	78	85						
	成果指標(2)	%	42	42	50	30	35						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,470	13,209	13,761	13,319	13,968					
	職員数(正規・非常勤)		人	1.49	1.51	1.51	1.51	1.51	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	13,519	13,700	13,700	13,700	13,700	「国・都からの支出金」は、通園グループ指導(たんぼぼ園)に含まれている。国・都からの支出金は、通園グループ指導(たんぼぼ園)として給食費分も含めて一括交付されているが、給食費分の金額については、不明のためここに計上できなかった。				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	25,989	26,909	27,461	27,019	27,668					
	単位あたりコスト ÷		円	1,868	1,756	1,608	1,701	1,620					
	財源	受益者負担分		千円	1,314	3,083	3,636	3,307			3,636		
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0			0		
		その他特定財源		千円	0	0	0	0			0		
		特定財源計 ++		千円	1,314	3,083	3,636	3,307			3,636		
差引:一般財源 -		千円	24,675	23,826	23,825	23,712	24,032						
受益者負担比率 ÷		%	5.1	11.5	13.2	12.2	13.1						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		給食提供を義務付けた国の方針に変更はない。形態については、個々の口腔機能に合わせて行ってきたが、それに加えアレルギー食への対応を行っている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		親子通園グループの親にも給食を提供してほしいという要望がある。(幼児グループの親には既に給食を提供している。幼児グループも通園日の一部 週5日の場合は2日。週3日の場合は1日 は、親子同時通園をしている。)										
	今後の予測		調理委託料との関係ではこれ以上給食数を増やすのは現状としては難しい。家庭における調理機能が低下することが考えられるので、給食を通じての援助、指導がより一層必要になると思われる。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		利用者通所バス（たんぼぼ園通園バス）				整理番号	334		細番号		
所属部課名		保健福祉部 子ども発達センター		コード	93800		連絡先電話番号	5317-5661			
係名		たんぼぼ園		上位施策名					NO		
予算事業名		子ども発達センター		コード	32420		障害児の援護の充実		27		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 児童福祉法				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立子ども発達センター運営要綱						
	通園グループ指導事業（たんぼぼ園）在籍児及びその保護者		(3) 杉並区立子ども発達センター通園グループ通所バス運行要領								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		住所や身体状況を考慮した停留所を設定し、マイクロバス3台で送迎する。また、社会体験・保育園交流等の交通手段として運行する。		活動指標名(式)						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		子どもが抱えている課題を解決するため、利用者の利便を図り、通園の動機づけや継続的通園を支援する。		成果指標名(式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		継続した働きかけが必要な親子の通園の利便を図り、障害のある子どもの発達を援助する。		(1) (代)バス運行回数 ÷ バス運行日数							
		(2)									

  

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	日	252	254	254	250	254					
	活動指標(2)	回	1918	1944	1900	1977	1900					
	成果指標(1)	回	8	8	7	8	7					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	36,645	34,864	33,365	33,365	33,365					
	職員数(正規   非常勤)	人	0.52	0.50	0.50	0.50	0.51	特記事項 「国・都からの支出金」は、通園グループ指導(たんぼぼ園)に含まれている。国・都からの支出金は、通園グループ指導(たんぼぼ園)としてバス運行分も含めて一括交付されているが、利用者通所バス分の金額については、不明のためここに計上できなかった。				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,718	4,537	4,537	4,537			4,627		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 ++	千円	41,363	39,401	37,902	37,902	37,992					
	単位あたりコスト ÷	円	164,139	155,120	149,219	151,606	149,576					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0			0		
		国・都からの支出金	千円	0	0	0	0			0		
		その他特定財源	千円	0	0	0	0			0		
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	41,363	39,401	37,902	37,902	37,992					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

  

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	通園バス運行を義務づけた国の方針に変更はない。開設当初は、たんぼぼ園の通所と社会体験事業を主として運行していたが、通園事業に支障のない範囲で個別指導に来所する肢体不自由児等にも広げ、より有効に活用している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	心身の発達に障害や遅れのある就学前の子どもが1時間も乗車するのは厳しい。通所時間の短縮を図るため増車してほしい。
	今後の予測	杉並全域どこに住んでいても通所の利便性を図ることが必要。4月及び年度途中にも通園児の入れ替えがあり、柔軟な運用が常に求められると考える。

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		通園グループ指導(たんぼぼ園)				整理番号	335		細番号					
所属部課名		保健福祉部 こども発達センター		コード	93800		連絡先電話番号	5317-5661						
係名		たんぼぼ園		上位施策名					NO					
予算事業名		こども発達センター		コード	32420		障害児の援護の充実		27					
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 児童福祉法							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 東京都障害児施設措置費支弁基準									
	対象		心身に障害や発達の遅れのある、就学前の子どもとその保護者											
	対象		(3) 東京都障害児通園(デイサービス)事業運営費補助金交付要綱											
活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		幼児グループと親子グループの9グループ編成。自由遊び、課題あそび、専門療法、社会体験活動等を実施し、子どもの発達を促す。 どのグループも、保護者と一緒に通園する日が入っている。					活動指標名(式)							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)							(1) 通園児数							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)							(2) 通園希望者数							
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		集団活動を通して低年齢期からの適切な療育を実施することにより発達を促し、子どもが身近な地域の中で生活できるようにする。又、保護者も療育の場に参加することにより、子どもの障害を受容し、見通しをもって子育てできるようにする。					成果指標名(式)							
意図(対象をどのような状態にしたいのか)							(1) (代)通園児数 ÷ 通園希望者数							
意図(対象をどのような状態にしたいのか)							(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
一人ひとりの状況に配慮した療育を実施することにより、障害児の発達を援助する。														
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
							計画		実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	85		80		90		89		90		
	活動指標(2)		人	122		108		120		111		120		
	成果指標(1)		%	69		74		75		80		75		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,184		8,466		8,479		8,509		8,466		
	職員数(正規   非常勤)		人	17.16		15.42		15.42		15.42		15.33	特記事項 「国・都からの支出金」の中に、給食運営・通所バスも含まれている。 国・都からの支出金の中には、給食運営・通所バスも含まれているが、いくら不明なので、ここに全て計上した。	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	155,693		139,906		139,906		139,906		139,089		
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	164,877		148,372		148,385		148,415		147,555		
	単位あたりコスト ÷		円	1,939,726		1,854,646		1,648,718		1,667,580		1,639,501		
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0			0
		国・都からの支出金		千円	99,086		98,209		100,364		99,825			97,215
		その他特定財源		千円	0		0		0		0			0
		特定財源計 ++		千円	99,086		98,209		100,364		99,825			97,215
差引:一般財源 -		千円	65,791		50,163		48,021		48,590		50,340			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		就学前の兄弟のいる子どもの数 平成9年・22人 / 62 職12年・22人 / 69 介護という要件で保育園に入っている子もいるが、家族・ベビーシッターなど苦慮している人が半数。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		通園を希望したら、いつでもすぐに入れてほしい。 兄弟姉妹を預ける場所を確保してほしい。											
	今後の予測		託児体制が保障されることにより、早期に療育につながり療育効果が高まると予測される。											

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		訓練及び行事				整理番号	336		細番号			
所属部課名		保健福祉部 こども発達センター		コード	93800	連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	339		
係名				たんぼぼ園		上位施策名			NO			
予算事業名				こども発達センター		コード	32420		障害児の援護の充実	27		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		9年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				●無 ○有		平成 年度		(1) 児童福祉法			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 通園グループ在籍児及びその家族 センター利用児及びその家族		(2) 東京都障害児施設措置費支弁基準					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				(3) 杉並区立こども発達センター条例							
	園外訓練、運動会、就学を祝う会、お別れ会、入園式 夏祭り（遠足） ・障害をもつため、地域の祭りに参加できない親子に祭りの体験をしよう。    ・日ごろセンターに来所することの少ない父親を含めた家族が来所する機会とする。				活動指標名(式)							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)								
子ども達が訓練や行事に参加し、さまざまな体験をすることで、子ども達の成長のきっかけとする。 日頃の活動の節目として子どもの成長発達を確認し、次の療育段階への動機づけを行う。				(1) (代)園外訓練(遠足)等に参加した児童数/対象児童数								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 様々な節目の活動を通じて、子どもの発達を促している。				(2) (代)夏まつりの参加数/対象者数								
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	人	190	239	259	228	259	267	85.0			
	活動指標(2)	人	311	270	300	235	300	250	94.0			
	成果指標(1)	%	65	82	90	78	89	92	85.0			
	成果指標(2)	%	72	77	80	67	85	90	94.0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	447	450	411	261	411					
	職員数(正規 非常勤)	人	1.38	1.36	1.36	1.36	1.33	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	12,521	12,339	12,339	12,339	12,067				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	12,968	12,789	12,750	12,600	12,478					
	単位あたりコスト ÷	円	68,251	53,512	49,229	55,264	48,178					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0				
		国・都からの支出金	千円	0	0	0	0	0				
		その他特定財源	千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	12,968	12,789	12,750	12,600	12,478					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	特になし										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	いろいろの社会体験をすることで、自信にもつながる。今後も続けてほしい。										
	今後の予測	訓練、行事等は子どもの成長には大事な取組みであり、内容・対象者については見直しはあるが、必要な事業ではある。 夏祭りについては対象が減少する可能性もある。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		相談		整理番号	337		細番号			
所属部課名		保健福祉部 子ども発達センター		コード	93800		連絡先電話番号	5317-5661		
係名		療育相談係		上位施策名			昨年度整理番号	340		
予算事業名		子ども発達センター		コード	32420		障害児の援護の充実	27		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区立子ども発達センター条例 (2) 杉並区立子ども発達センター運営要綱 (3) 杉並区立子ども発達センター相談事業実施要領			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		心身の発達につまずきや障害があると思われる、区内在住の18歳未満の子どもの保護者及び関係者					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		電話・来所による相談を受け、適切な解決策が得られるよう援助する。		活動指標名(式) (1) 相談実施件数(電話相談・一般相談・医療相談) (2)					
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		相談者を受容し適切に対応することにより、保護者等が安心して療育・保育・教育等にのぞめるようになり、障害のある子どもの発達の機会が早期に保障される。		成果指標名(式) (1) 相談により、当所でのリハビリ・心理・通園等のほか、他施設において何らかの療育を受けられるようになった件数 (2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 個々の相談に的確に対応するとともに、障害児の早期療育体制を確立する										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		件	560	476	500	504	500		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		件	547	465	500	495	500		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,155	1,712	1,618	1,637	1,618		
	職員数(正規・非常勤)		人	2.65	3.13	3.13	3.13	3.12	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	24,043	28,398	28,398	28,398	28,308		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	25,198	30,110	30,016	30,035	29,926		
	単位あたりコスト ÷		円	44,997	63,257	60,033	59,594	59,852		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0	0	
		その他特定財源		千円	0	0	0	0	0	
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0	
差引:一般財源 -		千円	25,198	30,110	30,016	30,035	29,926			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		事業開始に伴う需要の掘り起こしは一段落した。 相談件数 平成9年度755件 平成10年度560件 平成11年度476件 平成12年度504件							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		就学してからも、学校生活を含めいろいろな相談にのってほしいとの要望がある。							
	今後の予測		障害の発生率からみてほぼ横ばいの傾向で需要は推移すると思われる。							



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		言語心理指導				整理番号	338		細番号	
所属部課名		保健福祉部 こども発達センター		コード	93800		連絡先電話番号	5317-5661		
係名		療育相談係		上位施策名				NO		
予算事業名		こども発達センター		コード	32420		障害児の援護の充実		27	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区立こども発達センター条例			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立こども発達センター運営要綱					
	発達に遅れのある区内在住の18歳未満の子どもとその保護者。		(3) 東京都障害児通園(デイサービス)事業運営費補助金交付要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名(式)							
言語・心理の専門技術により、対象者の発達全般を促すとともに保護者が障害を正しく理解し適切な対応ができるよう援助する。		(1) 個別指導及び専門相談実施件数								
		(2)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名(式)								
言語・心理の専門的な指導によりその発達が促され、本人の可能性や能力が発揮できる。		(1) 個別指導および専門相談を実施し、向上した人数								
		(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 障害児の早期療育が充実する										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標(1)	件	3,001	3,500	3,000	3,174	3,500			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	人	222	264	250	307	350			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	18,742	18,821	19,702	18,937	23,754			
	職員数(正規   非常勤)	人	1.40	1.60	1.60	1.60	1.60	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	12,702	14,517	14,517	14,517	14,517		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	31,444	33,338	34,219	33,454	38,271			
	単位あたりコスト ÷	円	10,478	9,525	11,406	10,540	10,935			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0		
		国・都からの支出金	千円	3,467	3,430	3,490	3,315	3,394		
		その他特定財源	千円	0	0	0	0	0		
		特定財源計 + +	千円	3,467	3,430	3,490	3,315	3,394		
差引:一般財源 -		千円	27,977	29,908	30,729	30,139	34,877			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	言語心理個別指導及び専門相談の実施件数 平成9年度2,250件 平成10年度3,001件 平成11年度3,500件 平成12年度3,174件								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	現在、実施できていない学齢期児童への個別指導に対する要望がある。								
	今後の予測	学齢期児童の個別指導実施に対する要望はさらに高まると予想される。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健指導			整理番号	339		細番号		
所属部課名		保健福祉部 こども発達センター		コード	93800		連絡先電話番号	5317-5661		
係名		療育相談係			上位施策名	NO				
予算事業名		こども発達センター		コード	32420		障害児の援護の充実	27		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区立こども発達センター条例					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 相談・通園グループ指導・個別指導の利用児とその保護者及び関係者。				(2) 杉並区立こども発達センター運営要綱					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 看護婦による視診で子どもの身体状況の把握。口腔機能・摂食嚥下機能の評価及び技術援助。保健・栄養相談に応じる他、保健だよりなどで保健情報を提供する				(3) 杉並区立こども発達センター保健医療事業実施要領					
	活動指標名(式) (1) 保健指導実施件数 (2)				成果指標名(式) (1) 個別の摂食指導を受け、向上した人数 (2)					
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 口腔機能・摂食・嚥下機能の向上、介助技術の向上などを図ることで、本人の可能性、能力が十分に発揮できる。				意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 障害児の早期療育が充実する						
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	件	750	875	850	881	880			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	人	41	58	60	67	60			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	878	883	890	1,614	2,900			
	職員数(正規   非常勤)	人	0.96	1.09	1.09	1.09	1.09	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	8,710	9,890	9,890	9,890	9,890		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	9,588	10,773	10,780	11,504	12,790			
	単位あたりコスト ÷	円	12,784	12,312	12,682	13,057	14,534			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0		
		国・都からの支出金	千円	0	0	0	0	0		
		その他特定財源	千円	0	0	0	0	0		
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -	千円	9,588	10,773	10,780	11,504	12,790				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	個別摂食指導人数 平成9年度18人 11年度58人 12年度67人 保護者や関係機関の中に摂食指導や医療的ケアに対する関心が高まっている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	指導対象者が所属する保育園・学校等から、職員に対する指導・援助を充実して欲しいという要望がある。								
	今後の予測	医療的ケアが必要な障害の重い子どもが増えて、発達センターとの関わりも増えると思われる 摂食指導対象者は増加する傾向であり、指導頻度の増加や関係職員への指導充実を求める声も増大すると予想される。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		運動機能リハビリテーション				整理番号	340		細番号			
所属部課名		保健福祉部 子ども発達センター		コード	93800	連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	344		
係名				療育相談係		上位施策名				NO		
予算事業名				子ども発達センター		コード	32420		障害児の援護の充実		27	
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区立子ども発達センター条例			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立子ども発達センター運営要綱					
	区内在住の18歳未満で運動機能に障害があり、日常生活動作が困難な子どもとその保護者及び関係者。				(3) 東京都障害児通園(デイサービス)事業運営費補助金交付要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)							
理学療法及び作業療法の専門技術により対象者の運動発達を促すとともに、保護者が障害を正しく理解し適切な対応ができるよう援助する。補装具相談を実施する。				(1) リハビリテーション個別指導及び専門相談実施回数								
				(2)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)								
対象者の発達が促され、もてる能力を最大限に発揮して可能な限り質の高い日常生活を送ることができるようにする。				(1) リハビリテーション個別指導及び専門相談を実施し、向上した人数								
				(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
障害児の早期療育が充実する												
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	回	2,576	2,528	2,500	2,748	2,600					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	人	81	113	100	147	130					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,919	3,559	4,066	3,984	4,182					
	職員数(正規   非常勤)	人	3.06	3.66	3.66	3.66	3.65	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	27,763	33,207	33,207	33,207	33,116				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	30,682	36,766	37,273	37,191	37,298					
	単位あたりコスト ÷	円	11,911	14,544	14,909	13,534	14,346					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0				
		国・都からの支出金	千円	3,467	3,430	3,490	3,315	3,394				
		その他特定財源	千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計 + +	千円	3,467	3,430	3,490	3,315	3,394				
差引:一般財源 -		千円	27,215	33,336	33,783	33,876	33,904					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	リハビリテーション登録者数 9年度92人 10年度81人 11年度113人 12年度147人										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	定期的な個別指導を、18歳まで実施してほしいという要望がある										
	今後の予測	学齢期児童の個別指導実施に対する要望はさらに高まると予想される。教育機関との連携を求める声も強くなると予想される。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		巡回指導				整理番号	341		細番号					
所属部課名		保健福祉部 こども発達センター		コード	93800		連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	345			
係名				療育相談係				上位施策名		NO				
予算事業名				こども発達センター		コード	32420		障害児の援護の充実		27			
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区立こども発達センター条例					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		障害児が在籍する区内保育園・幼稚園の保育士等。		(2) 杉並区立こども発達センター運営要綱					
									(3) 杉並区立こども発達センター巡回指導実施要領					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				児童精神科の医師やこども発達センターの職員が保育園に出向き、担当者の相談に応じ助言指導・情報交換を行うことで、相互に協力しながら障害児の抱える課題の解決を図る。				活動指標名(式)				(1) 巡回指導実施件数	
												(2)		
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				保育担当者が不安なく障害児保育に従事し、適切に指導することで障害児の地域での生活が充実する。				成果指標名(式)				(1) (代)保育園の障害児認定児童数及び巡回指導を受けた幼稚園児・小学生		
												(2)		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
総合的療育体制づくりを実現する。														
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%					
					計画	実績		14年度						
指標	活動指標(1)		件	228	241	250	251	260	300					
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		人	106	106	154	110	120	135					
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,075	5,619	5,660	4,347	5,383						
	職員数(正規   非常勤)		人	0.48	0.58	0.58	0.58	0.58	特記事項					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,355	5,262	5,262	5,262	5,262						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++		千円	9,430	10,881	10,922	9,609	10,645						
	単位あたりコスト ÷		円	41,360	45,151	43,689	38,284	40,944						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0					
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0	0					
		その他特定財源		千円	0	0	0	0	0					
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	9,430	10,881	10,922	9,609	10,645							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		巡回指導実施件数 9年度139回 10年度228回 11年度241回 12年度251回 9年度まで保育課と分担して実施していたが、10年度からこども発達センターの事業として一本化した。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		幼稚園や学童クラブにも定期的に巡回してほしいという要望がある。											
	今後の予測		幼稚園等への定期的な巡回指導実施に対する要望はさらに高まると予想される。											

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		療育講座等			整理番号	342		細番号		
所属部課名		保健福祉部 こども発達センター		コード	93800		連絡先電話番号	5317-5661		
係名		管理係		上位施策名				NO		
予算事業名		こども発達センター		コード	32420		障害児の援護の充実		27	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9 年度		根拠法令等			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区立こども発達センター条例 (2) 杉並区立こども発達センター運営要綱 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		療育講座 (年3回) 施設公開 (年1回)		活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		保護者が、子どもの状況を理解し、子育ての励みや見通しをもった子育てができるようになる。また、障害や子育てについての最新の知識や情報を得ることで、地域での受け入れや関係機関の連携をスムーズにする。		成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		保護者の見通しをもった子育てや総合的療育体制づくりを実現する。								
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
指標	活動指標(1)	人	306	274	360		229	360		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%	15	15	30		22	30		
	成果指標(2)	%	62	51	70		58	70		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	254	215	257		215	257		
	職員数(正規   非常勤)	人	0.80	0.70	0.70		0.70	0.71	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,258	6,351	6,351		6,351	6,442	
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0	0	
	総事業費 ++	千円	7,512	6,566	6,608		6,566	6,699		
	単位あたりコスト ÷	円	24,550	23,964	18,356		28,673	18,608		
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0		0	0	
		国・都からの支出金	千円	0	0	0		0	0	
		その他特定財源	千円	0	0	0		0	0	
		特定財源計 ++	千円	0	0	0		0	0	
差引:一般財源 -	千円	7,512	6,566	6,608		6,566	6,699			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	講座の内容に関する要望が、多岐かつ専門的になってきているが、センター事業全体の中で日程調整、講師との交渉等、見通しをもって実施できるようになってきた。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	より個々のニーズに応じた専門的な内容を実施してほしいという要望がある。								
	今後の予測	子どもの発達に不安を抱える保護者は今後も新たに発生していくので、入門的な内容の講座の需要は変わらない。また、学齢児等段階を追った専門的な内容の需要が高まる。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		長寿祝い品贈呈				整理番号	198		細番号				
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	94104		連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	187		
係名 事業係					上位施策名					NO			
予算事業名 長寿祝い品贈呈					コード 22000		高齢者の社会参加と交流の拡大					30	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 老人福祉法第4条、第20条の7								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 満100歳以上の高齢者				(2) 杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館条例								
					(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 長寿の祝いとして寝具等の祝い品を贈る。百歳該当者のうち希望者には区長ほか区職員が訪問のうえ贈呈する。				活動指標名(式) (1) 対象者数  (2)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者が、周囲の人々から長寿を尊ばれることにより、さらなる長寿意識が醸成される。				成果指標名(式) (1) 訪問希望者数  (2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者が生きがいを持って生活することの一助となっている。													
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%				
				計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)	人	788	903	115	84	112						
	活動指標(2)												
	成果指標(1)	人				12							
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,377	3,580	831	622	952						
	職員数(正規 非常勤)	人	0.40   0.00	0.45   0.00	0.40   0.00	0.46   0.00	0.50   0.00	特記事項					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,629	4,083	3,629	4,174	4,537	12年度から事業の対象者を百歳以上の区民とした。				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++	千円	7,006	7,663	4,460	4,796	5,489						
	単位あたりコスト ÷	円	8,891	8,486	38,784	57,090	49,004						
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0					
		国・都からの支出金	千円	0	0	0	0	0					
		その他特定財源	千円	0	0	0	0	0					
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	7,006	7,663	4,460	4,796	5,489						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	高齢化率の推移 昭和50年7.42%、平成元年11.44%、平成11年度16.15%											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	お礼や喜びの電話・手紙が数多く寄せられているが、これらの財源を他の高齢者施策に有効に活用してほしいという要望が増えている。											
	今後の予測	高齢化率の推移 平成17年度19.52% 高齢者の増加											

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		敬老会				整理番号	199		細番号						
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	94104		連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	188				
係名 事業係					上位施策名					NO					
予算事業名 敬老会					コード	22200		高齢者の社会参加と交流の拡大			30				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				25 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成 年度		(1) 老人福祉法第4条								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				75歳以上の高齢者		(2) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例								
							(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						活動指標名(式)								
長寿を祝い演奏会に招待する。式典は半寿顕彰(81歳)と同時に開催。						(1) 入場人員									
						(2)									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)						成果指標名(式)									
高齢者が集い、祝われ、喜びを感じるにより、更なる長寿への意欲が醸成される。						(1) 来場率(来場者数/対象者数)×100									
						(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
高齢者の慰安と交流の場の提供															
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標(1)		人	5,214		2,517		4,400		1,032		3,166			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	15.3		7.1		10.0		2.8		8.1			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	16,466		5,749		3,439		3,116		4,757			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.60	0.00	0.68	0.00	0.60	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,444		6,170		5,444		6,351		6,351			
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 ++		千円	21,910		11,919		8,883		9,467		11,108			
	単位あたりコスト ÷		円	4,202		4,735		2,019		9,174		3,509			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国・都からの支出金		千円	2,599		2,259		1,719		1,558		2,378		
		その他特定財源		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 ++		千円	2,599		2,259		1,719		1,558		2,378		
差引:一般財源 -		千円	19,311		9,660		7,164		7,909		8,730				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		娯楽の質が変化し参加者の意識が演芸鑑賞に興味を失い、参加型の開催を求められるようになった。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		テレビの普及、カラオケ等娯楽の種類が増加等により、高齢者の質が変化し、特定会場に集めての敬老会は魅力が乏しい。												
	今後の予測		区民の生活スタイルや嗜好が多様化し、全体の総意が得にくくなる。												

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		81歳(半寿)顕彰				整理番号	200		細番号			
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	94104		連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	189	
係名 事業係					上位施策名					NO		
予算事業名 敬老会					高齢者の社会参加と交流の拡大					30		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 老人福祉法第4条、第20条の7							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 満81歳の高齢者				(2) 杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館条例							
					(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 満81歳の高齢者を対象に半寿の祝いとして敬老会の中で開催する式典に招待するとともに、幼児から高齢者までがペイントした手作りのオルゴールを各敬老会館で贈呈する。				活動指標名(式) (1) 対象者数 (2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者が、81歳を人生のまだ半分ととらえ、今後も活躍の意志を持つ。また、周囲から人生の節目を祝われることにより、更なる長寿への意欲が醸成される。				成果指標名(式) (1) 配布率 = 配布数 / 対象者数 × 100 (2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者社会参加の意識を持つ助けとなっている。												
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度				13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	人			2,138		2,138	2,566				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%			79.4		68.0	74.0				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円			5,300		2,851	4,819				
	職員数(正規 非常勤)	人			0.20	0.00	0.58	0.00	0.60	0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	1,815		5,262	5,444			
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0	0			
	総事業費 ++	千円	0	0	7,115		8,113	10,263				
	単位あたりコスト ÷	円			3,328		3,795	4,000				
	財源	受益者負担分	千円			0		0	0			
		国・都からの支出金	千円			0		0	0			
		その他特定財源	千円			0		0	0			
		特定財源計 ++	千円	0	0	0		0	0			
差引:一般財源 -	千円	0	0	7,115		8,113	10,263					
受益者負担比率 ÷	%			0.0		0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	高齢の対象者が増加。平成13年度 65歳以上人口 16.66%										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	半寿は知られていない。物をもって仕方ない。										
	今後の予測	元気で長寿の高齢者が増加する。										



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		いきいきディサービス				整理番号	202		細番号			
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	94104	連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	なし		
係名 事業係				上位施策名					NO			
予算事業名				いきいきディサービス		コード	22500		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援		31	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区いきいきディサービス実施要綱							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上で身体機能の低下している区民 65歳以上の要介護認定で非該当(自立)と認定された区民				(2) 杉並区介護予防・生活支援事業運営要綱							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 高齢者支援ワーカー(若年嘱託員)が、敬老会館を巡回し、健康・福祉に関する相談やレクリエーション活動の提供を通して、健康生きがいづくりを行う。高齢者活動支援センター及び6ヶ所の敬老会館で月4回実施。				活動指標名(式) (1) 利用者実人員 (2)							
	意図(対象をどのような状態にしたいのか) 虚弱な高齢者が閉じこもりにならず、身体機能が維持されている。				成果指標名(式) (1) 利用者実人員 / 介護保険自立判定者 × 100 (2)							
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者が自立して生活できることを支援している。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度		目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績	計画		年度			
指標	活動指標(1)		人			105	52	790				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%			100.0	14.7					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円			14,441	14,060	23,392				
	職員数(正規   非常勤)		人			0.30	5.60	0.35	8.00	0.70	21.00	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	2,722	3,176	6,351		特記事項 特定財源 施設整備は都補助金介護予防拠点整備事業費補助金 運営費は高齢者いきいき事業費補助金 13年度からは、旧わくわく活動も含めて、利用者実人員の計画数値としている。		
		非常勤職員分	千円	0	0	16,458	23,512	61,719				
	総事業費 ++		千円	0	0	33,621	40,748	91,462				
	単位あたりコスト ÷		円			320,203	783,607	115,775				
	財源	受益者負担分		千円			0	0	0			
		国・都からの支出金		千円			6,700	20,700	32,134			
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 ++		千円	0	0	6,700	20,700	32,134			
差引:一般財源 -		千円	0	0	26,921	20,048	59,328					
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		介護保険導入に伴う介護予防施策として実施。当初推定されていた、要介護認定で自立と判定される高齢者の出現が多くなかった。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		とても楽しい。もっとたくさんの方が利用できると良い。									
	今後の予測		事業が相談窓口に知られるにつれて、利用も多くなっていく。									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者活動支援センター運営・管理				整理番号	293		細番号				
所属部課名		高齢者活動支援センター		コード	94101		連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	296		
係名 管理係					上位施策名					NO			
予算事業名 高齢者活動支援センター					コード		30400		高齢者の社会参加と交流の拡大			30	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				58年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成		年度						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				60歳以上の区民								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)								
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)								
高齢者が快適な時間を過せるように、施設・設備の保全を行なうとともに、大広間の業務や宿泊業務などを運営する。				(1) 年間利用者数 (2) 年間宿泊者数									
多くの高齢者が施設を利用することで、高齢者相互の交流が活発化する。 施設の活用により、高齢者の自主的活動が活発化する。 施設利用者が、楽しい時間・くつろげる時間を過ごせる。				(1) センター利用率 = 年間利用者数 ÷ 年間利用可能定員 × 100 (2) 宿泊充室率 = 年間充室数 / 延部屋数 × 100									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
高齢者相互の交流の促進を図ること、高齢者が生きがいを持って生活を送ることに寄与している。													
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
					計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		人	97,264	93,071	95,000	87,493	95,000					
	活動指標(2)		人	1,926	1,852	2,032	1,410	2,032					
	成果指標(1)		%	74	71	73	67	73					
	成果指標(2)		%	38	35	40	29	40					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	93,586	72,166	73,306	68,689	123,878					
	職員数(正規   非常勤)		人	1.30   3.00	1.46   3.00	1.30   3.00	1.41   3.00	1.30   3.00	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	11,795	13,247	11,795	12,793	11,795				
		非常勤職員分		千円	8,817	8,817	8,817	8,817	8,817				
	総事業費 + +		千円	114,198	94,230	93,918	90,299	144,490					
	単位あたりコスト ÷		円	1,174	1,012	989	1,032	1,521					
	財源	受益者負担分		千円	5,630	5,501	5,955	4,800	5,957				
		国・都からの支出金		千円									
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 + +		千円	5,630	5,501	5,955	4,800	5,957				
差引:一般財源 -		千円	108,568	88,729	87,963	85,499	138,533						
受益者負担比率 ÷		%	4.9	5.8	6.3	5.3	4.1						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		施設及び設備は、老朽化に伴い故障や劣化が進んでいる。利用者は、後期高齢者の比率が高くなってきていると同時に、固定化しつつある。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		設備の故障により、施設の一部が使用不能となった場合に、それに対する苦情が寄せられる場合もあった。										
	今後の予測		施設・設備が老朽化しているため、年次修繕計画に準拠した大幅な改修・修繕を行なわない限り、施設・設備の故障・劣化は急速に進行する。また、修理のための部品が調達できず、修理不能となる設備も増えている。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		電話訪問事業				整理番号	295		細番号		
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	94101		連絡先電話番号	4316			
係名		管理係		上位施策名				NO			
予算事業名		高齢者活動支援センター		コード	30400		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援		31		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		49年度		根拠法令等				
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 13年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		65歳以上の一人暮らし高齢者または65歳以上の高齢者のみの世帯（近隣に親族が居住していなく、所得税が年額42,000円以下であること。）						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		電話訪問員（民生委員36名）を火～土曜日に3名ずつ配置し、対象高齢者に電話による訪問を行う。				活動指標名(式)				
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		病気や事故による最悪の状況を未然に防止し、安否の確認を行う。 孤独感や不安感を解消する。				成果指標名(式)				
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 日常生活支援サービスの一環として機能し、安心して地域の中で生活できるために有効である。				(1) 対象者数  (2) 電話訪問のべ件数(通話回数)					
		(1) 電話訪問利用者の満足度(利用者の内、入院、転居、死亡を除き、翌年度も継続利用する人数の割合) (2) 新規申込人数									
日常生活支援サービスの一環として機能し、安心して地域の中で生活できるために有効である。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	1,200	584	452	518	500			
	活動指標(2)		件	29,337	28,810	18,450	16,994	18,450			
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100			
	成果指標(2)		人	139	25	30	11	20			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,023	3,867	2,052	1,437	1,576			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.23	0.20	0.22	0.20	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,815	2,087	1,815	1,996	1,815			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	5,838	5,954	3,867	3,433	3,391			
	単位あたりコスト ÷		円	4,865	10,195	8,554	6,628	6,781			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都からの支出金		千円	0	0	1,260	1,260			1,021
		その他特定財源		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 ++		千円	0	0	1,260	1,260			1,021
差引:一般財源 -		千円	5,838	5,954	2,607	2,173	2,370				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		(65歳以上の区内高齢者数と割合) 平成元年59396人、11.44%、平成5年67757人、13.25%、平成10年78796人、15.71%、平成13年86050人、16.66%。 (高齢者人口に占めるひとりぐらし高齢者の割合) 平成元年 8.5%、平成5年11.9%、平成10年11.3%、平成13年12.7%。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		月に3回程度の電話では、あまり意味がない。普段、人とあまり会話をしない日が多いので楽しみである。電話だけでなく、様子を見に来てほしい。電話に出るためにあわてて転んでしまうことがある。								
	今後の予測		平成17年のひとりぐらし高齢者推定数11640人、平成22年のひとりぐらし高齢者推定数12703人(人口に対する割合は12.7%と想定)								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康・就労相談				整理番号	296		細番号						
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	94104		連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	300				
係名		事業係				上位施策名				NO					
予算事業名		健康・就労相談		コード					高齢者の地域社会での介護予防と自立支援		31				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 老人福祉法第14条の5								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		60歳以上の区民		(2) 杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		保健婦等による一般健康相談及び生活相談を毎日、医師による専門健康相談を月3回、就労相談を月4回実施する。				活動指標名(式)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者が疾病予防と治療療養生活、日常生活の悩み、就労機会の確保について助言指導を受けることができる。				成果指標名(式)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		高齢者の悩みの多くを占める健康に関する認識を高め疾病予防と早期発見、保持増進を図る。													
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
							計画		実績		年度				
指標	活動指標(1)		人	5,320		5,186		6,070		5,014		5,070			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	5.0		4.7		6.0		4.5		6.0			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,001		3,183		1,693		2,464		2,495			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.00	2.00	1.13	2.00	1.00	2.00	1.16	2.00	1.00	2.00	特記事項 敬老会館巡回数は平成13年6月より高齢者在宅サービス課保健婦3名	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,073		10,252		9,073		10,525		9,073			
		非常勤職員分	千円	5,878		5,878		5,878		5,878		5,878			
	総事業費 ++		千円	16,952		19,313		16,644		18,867		17,446			
	単位あたりコスト ÷		円	3,186		3,724		2,742		3,763		3,441			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国・都からの支出金		千円	4,524		4,320		4,562		3,212		743		
		その他特定財源		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 ++		千円	4,524		4,320		4,562		3,212		743		
差引: 一般財源 -		千円	12,428		14,993		12,082		15,655		16,703				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		東京都の高齢者人口(構成比%)平成4年16.5 平成6年17.9 平成8年19.4 平成10年20.8 利用者の後期高齢化が目立つとともに単身者・痴呆など処遇困難な相談が多くなっている。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		身近で健康相談できることで、区民から敬老会館での定期的巡回の要望が強い。												
	今後の予測		高齢者の増加する中、相談による疾病早期発見、閉じこもり防止・寝たきり防止のためにも健康相談は重要性を増す。就労相談は元気な高齢者の増加により、就労を求める高齢者が増加する。												

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ゲートボール場運営				整理番号	297		細番号			
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	94101	連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	301		
係名 管理係				上位施策名					NO			
予算事業名 高齢者活動支援センター				コード	30400	高齢者の社会参加と交流の拡大					30	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区高齢者ゲートボール場管理運営要綱							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民で、構成員10名以上の団体				(2)							
					(3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） ゲートボール場の適切な管理及びゲートボール団体の登録、使用日程の抽選等の運営を行う。				活動指標名(式)							
					(1) 登録団体数							
				(2)								
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 高齢者のグループ活動・スポーツ活動（ゲートボール）が活発に行われている。				成果指標名(式)								
				(1) 週1回以上活動できた団体数 / 登録団体数 × 100								
				(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者が健康で生活できることにある程度貢献している。												
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標(1)		団体	24	26	27	28	29	30	93.3		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100	100.0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	556	463	342	318	308				
	職員数(正規   非常勤)		人	0.10	0.11	0.10	0.09	0.06	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	907	998	907	817	544				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	1,463	1,461	1,249	1,135	852				
	単位あたりコスト ÷		円	60,971	56,193	46,270	40,520	29,392				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0			
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0	0			
		その他特定財源		千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	1,463	1,461	1,249	1,135	852					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		利用団体が徐々に増えてきている。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		開設当初よりコートの水はけが悪く、大雨や雪の後、利用に支障をきたすことがある。									
	今後の予測		現在でもほぼ毎日コート2面とも利用されており、荻窪小学校建設予定地(宮前ゲートボール場)を借用しているため、利用者のニーズに対応できているが、今後利用団体が増加してゆくと、対応できなくなる可能性もある。									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉の樹大学				整理番号	298		細番号						
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	94104		連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	302				
係名 事業係					上位施策名					NO					
予算事業名 高齢者活動支援センター					コード	30400		高齢者の社会参加と交流の拡大			30				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				59 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成 年度		(1) 老人福祉法第4条、第5条の3								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 老人福祉法第20条の7										
	60歳以上の区民				(3) 杉並区立高齢者活動支援センター条例										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）					活動指標名(式)									
毎年3月に学生募集。高齢者のために講義・実技を大学として実施。					(1) 受講者数										
					(2)										
意図（対象をどのような状態にしたいのか）					成果指標名(式)										
高齢者がともに活動する仲間を作るとともに、教養の向上、健康の増進が図れている。					(1) 出席率										
					(2)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
高齢者の交流の拡大に貢献している。															
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度		目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
							計画	実績	計画		年度				
指標	活動指標(1)		人	66	66	116	116	116							
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	86	87	90	86	90							
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	949		917		1,080		1,089		1,062		特記事項	
	職員数(正規   非常勤)		人	1.00	0.00	0.79	0.00	0.70	0.00	0.81	0.00	0.80	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	9,073		7,168		6,351		7,349		7,258		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	10,022		8,085		7,431		8,438		8,320			
	単位あたりコスト ÷		円	151,848		122,495		64,061		72,743		71,728			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国・都からの支出金		千円	19		60		70		2,560		530		
		その他特定財源		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 + +		千円	19		60		70		2,560		530		
差引:一般財源 -		千円	10,003		8,025		7,361		5,878		7,790				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢化率の推移 昭和50年 7.42% 平成元年11.44% 平成12年16.28%(60歳以上の高齢者の数が増大し区民全体の高齢化率が上昇している。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		カリキュラムの拡充に関する要望がでている。また、受講生の学習意欲に差があることから入学金の徴収や入学試験の導入についての意見もある。												
	今後の予測		高齢者人口の増加に伴い、生涯学習の需要も高まる。												

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公開講座				整理番号	299		細番号					
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	94104	連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	304				
係名 事業係					上位施策名				NO					
予算事業名					高齢者活動支援センター		コード	30400		高齢者の社会参加と交流の拡大	30			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 老人福祉法第4条、第13条1項、第20条の7									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の高齢者				(2) 杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館条例									
					(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 社会情勢や文化・健康に関するテーマや講座を開催する。				活動指標名(式) (1) 受講者数 (2) 講座開催回数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者が社会に関心を持ち、積極的に社会参加する。				成果指標名(式) (1) 定員充足率(延受講者数/延定員数) (2)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者の社会参加への意識及び学習意欲の向上														
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
							計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		人	467		507		610		522		630		
	活動指標(2)		回	9		5		9		7		9		
	成果指標(1)		%	75		92		100		86		100		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	408		250		345		337		345		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.00	0.11	0.00	0.10	0.00	0.12	0.00	0.10	0.00	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,815		998		907		1,089		907	
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0	
	総事業費 ++		千円	2,223		1,248		1,252		1,426		1,252		
	単位あたりコスト ÷		円	4,759		2,462		2,053		2,731		1,988		
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0	
		国・都からの支出金		千円	8		3		3		129		173	
		その他特定財源		千円	0		0		0		0		0	
		特定財源計 ++		千円	8		3		3		129		173	
差引: 一般財源 -		千円	2,215		1,245		1,249		1,297		1,079			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		人生八十年時代を迎えて高齢者の学習に対する意欲や健康への関心はますます高揚し、多様化している。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		健康に関する講座の希望も多いが、最近ではパソコン・歴史の講座の要望が多く寄せられている。											
	今後の予測		高齢者の生活に合った情報化・高齢者の意識・価値観の多様化に対応した高齢者を含む講座の開設が必要となる。											

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		映画会・各種大会				整理番号	300		細番号					
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	94104		連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	305			
係名 事業係					上位施策名					NO				
予算事業名 高齢者活動支援センター					コード	30400		高齢者の社会参加と交流の拡大			30			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 59 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 老人福祉法第20条の7									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民				(2) 杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館条例									
					(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 高齢者活動支援センターにおいて、年2回映画会を実施する。また、高齢者はつつつ運動会及び囲碁、将棋、オセロ、パナーの各大会を実行委員会方式で実施している。				活動指標名(式) (1) 映画会・各種大会参加者総数 (2)									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者の交流が活発になる。				成果指標名(式) (1) 参加率 = 参加者総数 / 60歳以上の区民 × 100 (2)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 趣味や娯楽を通して高齢者の交流を拡大することに貢献している。														
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
							計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		人	1,120		829		860		634		860		
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%	1.0		0.8		0.8		0.6		0.8		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,090		1,722		1,260		896		1,250		
	職員数(正規   非常勤)		人	0.58	0.00	0.68	0.00	0.60	0.00	0.70	0.00	0.60	0.00	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,262		6,170		5,444		6,351		5,444		
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	7,352		7,892		6,704		7,247		6,694		
	単位あたりコスト ÷		円	6,565		9,519		7,795		11,431		7,783		
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0	
		国・都からの支出金		千円	1,452		1,195		1,195		1,195		1,195	
		その他特定財源		千円	0		0		0		0		0	
		特定財源計 + +		千円	1,452		1,195		1,195		1,195		1,195	
差引: 一般財源 -		千円	5,900		6,697		5,509		6,052		5,499			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		開始当初は高齢者への娯楽提供として喜ばれたが、娯楽の多様化等により意義が薄れている。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		各種大会の実行委員から参加費徴収や広報すぎなみの活用、種目の変更、「大会」ではなく「教室」とした方がよいなどの提言があった。											
	今後の予測		社会の変化とともに高齢者の娯楽も多様化する。											



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		季節事業				整理番号	301		細番号							
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	94104		連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	306					
係名 事業係					上位施策名					NO						
予算事業名					高齢者活動支援センター		コード	30400		高齢者の社会参加と交流の拡大		30				
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		60		年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期				● 無 ○ 有		平成		年度		(1) 老人福祉法第4条,第十三条第1項,第20条の7					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		60歳以上の高齢者						(2) 杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館条例			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				年2回、高井戸地域区民センター、高井戸温水プールとの共催で高井戸市民センターまつりを実施する。また、センター利用者の親睦を図るため、節分の日に豆まきを行う。								活動指標名(式)		(1) 参加者数	
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				高齢者相互あるいは他世代との親睦が深まるとともに、まつりにおいては、日頃の趣味活動等の成果を発表できる。								成果指標名(式)		(1) 参加率 = 参加者数 / 60歳以上の区民 × 100	
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													(2)			
高齢者相互及び他世代との交流の拡大。																
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度				13年度計画		目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
							計画		実績				年度			
指標	活動指標(1)		人	1,676		1,499		1,700		1,075		1,700				
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		%	1.6		1.4		1.5		1.0		1.5				
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	14		75		39		16		39				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.09	0.00	0.06	0.00	0.06	0.00	0.07	0.00	0.06	0.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	817		544		544		635		544			
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 ++		千円	831		619		583		651		583				
	単位あたりコスト ÷		円	496		413		343		606		343				
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0			
		国・都からの支出金		千円	32		35		0		8		19			
		その他特定財源		千円	0		0		0		0		0			
		特定財源計 ++		千円	32		35		0		8		19			
差引:一般財源 -		千円	799		584		583		643		564					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者の価値観やライフスタイルの多様化に伴い、参加者の減少傾向が見られる。高齢化率の推移昭和60年10.22%,平成12年16.53%													
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		「高井戸センターまつり」に区民センター・温水プールと共催し、地域のまつりとして定着している。いきいきクラブ等の発表の場や交流する機会の提供となっており、引き続き開催をのぞむ要望がある。													
	今後の予測		高齢者人口の増加。高齢化率の推移,平成12年16.53%平成17年19.52%													

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		敬老会館施設維持管理及び運営委託				整理番号	304		細番号						
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	94101		連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	308				
係名 管理係				上位施策名				NO							
予算事業名 敬老会館				コード 30600				高齢者の社会参加と交流の拡大				30			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 38 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業										
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 老人福祉法第4条										
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民及び60歳以上の区民が8割以上の団体				(2) 老人憩の家の設置運営について										
					(3) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 高齢者が安全で快適な時間が過ごせるよう、敬老会館の設備保全に努めると同時に、浴室や一般利用・団体利用のための諸室の管理運営を行う。				活動指標名(式)										
					(1) 年間延利用者数										
				(2) 利用団体数											
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 地域の多くの高齢者が会館を利用し、高齢者相互の交流が活発化する。 舞踊、書道など高齢者の様々なグループに活動の場が提供されている。				成果指標名(式)											
				(1) 会館利用率(年間延用者数÷年間利用可能定員×100) 年間利用可能定員=32館×開館日×1館定員(50人)											
				(2) 新規利用団体数											
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者が健康で生きがいを持った生活を送ることに寄与している。															
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度		目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
							計画	実績	計画	年度					
指標	活動指標(1)		人	239,607		266,307		270,000		267,155		270,000			
	活動指標(2)		団体							381		400			
	成果指標(1)		%	51		57		58		57		58			
	成果指標(2)		団体									20			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	96,634		97,699		98,805		96,088		96,082			
	職員数(正規 非常勤)		人	32.30	32.00	32.36	32.00	29.30	36.00	29.41	36.00	25.30	42.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	293,058		293,602		265,839		266,837		229,547			
		非常勤職員分	千円	94,048		94,048		105,804		105,804		123,438			
	総事業費 ++		千円	483,740		485,349		470,448		468,729		449,067			
	単位あたりコスト ÷		円	2,019		1,823		1,742		1,755		1,663			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都からの支出金		千円											
		その他特定財源		千円											
		特定財源計 ++		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	483,740		485,349		470,448		468,729		449,067				
受益者負担比率 ÷		%													
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者人口の増加、それに伴う高齢者の団体の増加及び活動の多様化、介護保険制度の開始に関連して、敬老会館に期待される役割の変化などの状況がある。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		施設や設備の老朽化が進行しており、早期の改修、改築の要望をたびたび受けているが、十分進んでいない。また、畳の部屋が多く椅子が利用できないことや各部屋が独立していないなど、施設や設備が高齢者の身体状況の変化や高齢者団体の増加に十分対応できていない。												
	今後の予測		高齢者人口の増加、それに伴う高齢者の団体の増加及び活動の多様化は、これからもますます進んでいくと思われる。また、虚弱な高齢者やひきこもりがちな高齢者も一定の範囲で敬老会館を利用できるよう考慮していく必要がある。												

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		わくわく活動				整理番号	305		細番号						
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	94104		連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	309				
係名 事業係					上位施策名					NO					
予算事業名 老人カウンセラー活動					コード	30600		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援			31				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 53 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業										
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 12 年度				(1) 高齢者活動支援センター及び敬老会館条例										
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民				(2) 杉並区高齢者支援ワーカー設置条例										
					(3)										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)										
19名の高齢者支援ワーカーが敬老会館を月2回巡回し、来館する利用者に対しレクリエーションの提供や相談の支援助言を行なう。				(1) 巡回数											
				(2)											
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)											
敬老会館利用者が仲間とともにいきいきとした時間を過ごす。				(1) わくわく活動に参加した人数											
				(2)											
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
高齢者の健康保持増進や自立を支援している。															
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度		目標値	目標値に対する12年度の達成率%			
							計画	実績	計画		年度				
指標	活動指標(1)		回	1,123		1,047		816		1,047		0			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		人	24,092		22,126		21,216		22,026		0			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,057		2,918		2,878		2,918					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	16.00	0.45	16.00	0.40	13.20	0.46	14.63	0.00	0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,629		4,083		3,629		4,174		0			
		非常勤職員分	千円	47,024		47,024		38,795		42,998		0			
	総事業費 ++		千円	53,710		54,025		45,302		50,089		0			
	単位あたりコスト ÷		円	47,827		51,600		55,517		47,841					
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国・都からの支出金		千円	2,954		2,911		2,911		16,979		0		
		その他特定財源		千円											
		特定財源計 ++		千円	2,954		2,911		2,911		16,979		0		
差引:一般財源 -		千円	50,756		51,114		42,391		33,110		0				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		杉並区の高齢者人口の推移平成4年12.75% 6年13.78% 8年14.80% 10年15.71% 12年16.28%												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		閉じこもりの防止や、健康の保持増進に成り、楽しみにしている。												
	今後の予測		身体機能の低下のために閉じこもりがちになる高齢者の増加が見込まれる。												

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化事業			整理番号	306		細番号		
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	94104		連絡先電話番号	4316		
係名 事業係					上位施策名				NO	
予算事業名		敬老会館		コード	30600		高年齢者の社会参加と交流の拡大	30		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度		根拠法令等			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法20条の7 (2) 杉並区有財産管理規定 (3) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例					
	60歳以上の敬老会館利用者									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		区内在住の落語家に依頼して、年10回敬老会館を巡回して敬老寄席を実施する。また、敬老会館利用者の自主的活動を支援するため、講師を派遣すると共に講師謝礼を負担する趣味の講座を実施する。							
活動指標名(式)		(1) 敬老寄席・趣味の講座参加者総数 (2) 趣味の講座実施講座数								
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		敬老会館利用者が趣味活動等を通してともに活動する仲間をつくる。								
成果指標名(式)		(1) 参加率 = 参加者総数 / 60歳以上の区民 × 100 (2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか										
趣味活動等を通して、交流の拡大が図られている。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		人	11,352	10,570	12,400	7,446	8,300		
	活動指標(2)		講座	36	32	36	27	32		
	成果指標(1)		%	10.6	9.7	11.3	6.8	7.3		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,967	2,220	1,980	1,422	1,614		
	職員数(正規   非常勤)		人	0.20	0.23	0.20	0.23	0.20		特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,815	2,087	1,815	2,087	1,815	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +		千円	3,782	4,307	3,795	3,509	3,429		
	単位あたりコスト ÷		円	333	407	306	471	413		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円						
		その他特定財源		千円	1,896	1,794				
		特定財源計 + +		千円	1,896	1,794	0	0	0	
差引:一般財源 -		千円	1,886	2,513	3,795	3,509	3,429			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢化率の推移 昭和50年 7.42%、平成元年 11.44%、平成12年 16.28%。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		趣味の講座に関しては、講座の使用時間についての要望がある。							
	今後の予測		高齢化率の推移 平成17年度19.52%。 今後は多様な趣味を持つ高齢者が増加する。							

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康事業				整理番号	307		細番号				
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	94104		連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	311		
係名		事業係				上位施策名				NO			
予算事業名		敬老会館				高齢者の地域社会での介護予防と自立支援				31			
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館設置条例							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		60歳以上の区民 杉並区老人三療サービス連絡協議会		(2) 杉並区三療サービス事業実施要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	3 2 敬老会館において毎月3 6回はり、マッサージを行う三療サービスを杉並区老人三療サービス連絡協議会に委託して実施する。 各敬老会館を理学療法士(嘱託)5名が巡回し、健康体操を実施する。				(3) 敬老会館における機能回復訓練							
	活動指標名(式)					(1) 三療サービス、健康体操利用者数							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が、三療サービスを受けることを通して健康で穏やかな生活が維持できる。 利用者が、健康体操を受けることを通して身体機能の回復・維持が図れる。				(2) 三療サービス、健康体操実施回数							
成果指標名(式)					(1) 利用率 = 利用者数 / 60歳以上の区民 × 100								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		高齢者の健康維持											
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%				
				計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)	人	8,020	8,714	9,012	8,549	9,408						
	活動指標(2)	回	724	791	780	738	816						
	成果指標(1)	%	7.5	8.0	8.2	7.8	8.3						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	18,635	18,911	14,953	17,531	18,890						
	職員数(正規   非常勤)	人	0.30   0.00	0.34   0.00	0.30   0.00	0.35   0.00	0.30   0.00	特記事項					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,722	3,085	2,722	3,176			2,722			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0			
	総事業費 + +	千円	21,357	21,996	17,675	20,707	21,612						
	単位あたりコスト ÷	円	2,663	2,524	1,961	2,422	2,297						
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0			0			
		国・都からの支出金	千円	6,549	6,409	6,409	5,549			9,443			
		その他特定財源	千円	0	0	0	0			0			
		特定財源計 + +	千円	6,549	6,409	6,409	5,549			9,443			
差引: 一般財源 -		千円	14,808	15,587	11,266	15,158	12,169						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	東京都高齢者人口(60歳以上の構成比) 平成4年16.5% 平成6年17.9% 平成8年19.4% 平成10年20.8%											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; border: none;">三療サービスは利用機会の均等化・施術者技量の差の是正</td> <td style="width: 33%; border: none;">健康体操は健康管理が図られ好</td> <td style="width: 33%; border: none;"></td> </tr> </table>									三療サービスは利用機会の均等化・施術者技量の差の是正	健康体操は健康管理が図られ好	
	三療サービスは利用機会の均等化・施術者技量の差の是正	健康体操は健康管理が図られ好											
今後の予測	高齢者の増加に伴い需要が見込まれる。												

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		善福寺川と友達になろう(21世紀プロジェクト)			整理番号	40		細番号		
所属部課名		保健福祉部 児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	3396-4760		
係名		管理係		上位施策名				NO		
予算事業名										
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 12年度		(1)			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)			
	区民約		5000人				(3)			
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)					
「環境・アート・未来」をコンセプトに、21世紀記念プロジェクト事業の一環として、善福寺川流域の緑地公園等利用し、生活空間における川の役割などの理解を深めるため、川遊びをはじめ各種のイベントを実施した。				(1) 回数						
意図(対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)						
21世紀の杉並の環境をモチーフに、杉並区にある自然(川・緑)とのかかわりを子どもと大人のふれあい・交流・遊びを通して実現し、区の環境への意識を向上させる。				(1) 当日参加者数						
				(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 「環境・アート・未来」をコンセプトに、21世紀記念プロジェクト事業の一環として、広く区民の方の参加・交流・満足感があり、区の施策への貢献は大きい。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		回			1	1		100.0	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		数			5000	10000		200.0	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			1,108	1,088			
	職員数(正規・非常勤)		人			0.00	0.00		特記事項 12年度だけの企画事業であり、児童館の行事事業として実施したため、職員数については、児童館事業で算定し、当該事業において算定していない。	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0	0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	0	1,108	1,088	0		
	単位あたりコスト ÷		円			1,108,000	1,088,000			
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円						
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	1,108	1,088	0			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区は、平成12年9月に新基本構想「杉並区21世紀ビジョン」を策定した。この取り組みに合わせて、平成12年と平成13年の2年間で21世紀への飛躍の年とするため、50万区民が杉並区に住んでいることに誇りと愛着を感じられるようなプロジェクトを組みたいと考えた。「人・こころ・みどり〜キラッと杉並21〜」の統一スローガンのもと、「環境・アート・未来」をコンセプトに事業計画をまとめた。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		参加者からは、川に沿っているんなイベントを見て歩くことができ楽しめた。親子の交流ができ楽しめてよかった。おにぎりを持って参加したがアットホームな雰囲気よかった。場所が広いので、全体が見渡せるようなものがあればもっと良かったとの声があった。							
	今後の予測		平成12年度限りの企画である。							

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		少子化対策臨時特例交付金事業(区立児童館・学童クラブ施設整備)		整理番号	373	細番号		
所属部課名	保健福祉部児童青少年センター	コード	094401	連絡先電話番号	3393-4760	昨年度整理番号	383	
係名	管理係	上位施策名				NO		
予算事業名	少子化対策特例交付金事業	コード	37700	子どもの育成環境の整備		28		
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	12年度	根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期	<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有	平成 12年度	(1) 児童福祉法第6条				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例				
	対象 沓掛小学校在校生及び同校学区内在住の小学校一年生から四年生までの児童と六年生までの障害児			(3)				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 本天沼児童館の既存図書室、音楽室、図工室を学童クラブ室に改修し、学童クラブ室の拡張を図る。			活動指標名(式)				(1) 改修児童館数(本天沼児童館)  (2)
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 学童クラブ室の改修により、学童クラブ定員を50人から65人に拡充することにより、例年入所待機となる10人前後の児童の受入を図る。			成果指標名(式)				(1) 本天沼学童クラブ入会児童数  (2) 本天沼学童クラブ待機児童数	
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 保護者が安心して就労等のできる環境を提供すると共に、保護者が帰宅するまでの間、児童の保育をすることにより、児童健全育成に貢献する。								

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%
				計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)	箇所		1	1	1		0	
	活動指標(2)								
	成果指標(1)	人		52	65	65		0	
	成果指標(2)	人		14	0	0		0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円		30,865	17,952	17,575			
	職員数(正規   非常勤)	人		0.20	0.20	0.20			特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	1,815	1,815	1,815		0
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +	千円	0	32,680	19,767	19,390		0	
	単位あたりコスト ÷	円		32,680,000	19,767,000	19,390,000			
	財源	受益者負担分	千円		0	0	0		
		国・都からの支出金	千円		29,817	17,000	17,573		
		その他特定財源	千円						
		特定財源計 + +	千円	0	29,817	17,000	17,573		0
差引:一般財源 -	千円	0	2,863	2,767	1,817		0		
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	近年、少子化の中であるが、女性の社会進出が進み、特に小学校に入学を機会に母親が就労をする世帯も増加し、学童クラブの入会希望が増加している。また、地域的に児童数が増えており、学童クラブの需要に地域格差が生じている。学童クラブ希望者数 H9 1,981人 H10 2,039人 H11 2,132人 H12 2,172人 H13 2,207人							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	待機児童の保護者を中心に、希望者全員入会の要望があり、可能な限り学童クラブ室を拡充したことにより、保護者及び住民の要望に応えることができた。							
	今後の予測	学区の弾力的運用や地域の住環境の変化(新規集合住宅の建設)などにより、沓掛小学校への入学児童数の増が想定され、本天沼学童クラブの入会希望者についても、60~70人が予測される。							

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		0391児童青少年センター施設維持管理及び運営				整理番号	391		細番号			
所属部課名		保健福祉部・児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	3393-4760				
係名		管理係		上位施策名				NO				
予算事業名		児童青少年センター運営		コード	39420		子どもの育成環境の整備		28			
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		9年度		根拠法令等					
	事業終期		●無 ○有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業 (1) 児童福祉法第1～4、7、35、40、45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同条例施行規則 (3) 杉並区立児童青少年センター及び児童館処務規定					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 児童青少年センターの建物、センター利用者（主に中高生）、センター及び児童館職員、地域住民の団体									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		センターの維持管理及び運営。センター及び41児童館の職員研修、物品の貸出し、事故対応。				活動指標名(式)					
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		センターを、安全かつ快適に利用できる施設とする。センターの運営に中高生等の意見等を反映させる。センター及び41児童館職員の質を高める。事業に必要な物品を効率的に貸し出す。				成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
子どもがのびのびと育つ環境を提供している。    子どもの権利条約の趣旨を具体化できる環境をつくっている。												
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%
							計画	実績		14年度		
指標	活動指標(1)		人	68,096	68,278	99,600	64,266	99,600	99,600	64.6		
	活動指標(2)		日	358	359	358	358	358	358	100.0		
	成果指標(1)		件	18	23	23	17	17	17	100.0		
	成果指標(2)		人	205	205	300	193	300	300	64.3		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	50,066	46,128	39,510	36,759	38,312	38,312	96.0		
	職員数(正規   非常勤)		人	10.29   0.00	9.67   0.00	10.40   0.00	9.35   0.00	10.40   0.00	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	93,361	87,736	94,359	84,833	94,359				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	143,427	133,864	133,869	121,592	132,671				
	単位あたりコスト ÷		円	2,106	1,961	1,344	1,892	1,332				
	財源	受益者負担分		千円	72	61	33	47	33			
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0	0			
		その他特定財源		千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 ++		千円	72	61	33	47	33			
差引:一般財源 -		千円	143,355	133,803	133,836	121,545	132,638					
受益者負担比率 ÷		%	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		全国に先駆けて、中高生のための児童館として竣工し、児童健全育成の拠点として事業を展開し、区民からも認知されている。 杉並区の13～18歳人口:平成9年 26,085人、平成12年度 24,206人 平成13年度 23,680人									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		事業開始時から、TV、新聞、関係機関からの視察・問合せが相次いでおり、各方面から注目されている。 平成12年度視察件数 265件									
	今後の予測		施設管理費は、経年劣化に伴い、通常の施設管理費に加えて修繕費が増える。運営についても、中高生の安全な居場所確保の重要性は増す。									



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ボランティア活動運営				整理番号	392		細番号			
所属部課名	保健福祉部児童青少年センター			コード	094404	連絡先電話番号	4402	昨年度整理番号	403			
係名 運営指導係				上位施策名				NO				
予算事業名 児童青少年センター運営				コード	39420	地域子育て支援の充実				26		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 63 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同条例施行規則							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 児童館のボランティアとしている活動している個人、団体、及び、今後活動を希望する区民。				(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館ボランティア登録要領							
					(3) 杉並区子ども家庭支援センター事業実施要綱							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 講習会などを通じてボランティアを育成し、登録制度により児童館の活動につなげる。実技講座3回、障害児のサポート講座2回を、開催する。区民、学生向けに児童館ボランティア募集のニュースを年2回、区民利用施設、区内大学等で配布し、発掘を図る。				活動指標名(式) (1) ボランティア登録者数 (2) ボランティア講座受講者数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 登録制度、講座実施、ニュース発行により、まだ参加したことのない区民を始め、継続的に、ボランティア活動がしやすくなる。とりわけ、障害児の余暇活動を支える活動に区民が関心を持つことができる。				成果指標名(式) (1) ボランティア講座受講後、ボランティア活動をした人数 (2) 活動者率 = 活動者数 ÷ 講座受講者数								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか ボランティアの児童館事業への参加により、子ども達の地域での体験や生活の幅を広げる手助けをする大人を増やし、世代を越えた人と人の交流をすすめることができる。また、地域での交流を求めている障害児とその家族にとっては、児童館事業に参加がしやすくなり、健常児との交流を図ることができる。												
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度		目標値	目標値に対する12年度の達成率%
							計画	実績	計画		15年度	
指標	活動指標(1)		人	1,108	1,116	1,100	1,049	1100	1100	95.4		
	活動指標(2)		人	136	144	120	147	120	120	122.5		
	成果指標(1)		人	12	17	15	30	15	20	150.0		
	成果指標(2)		%	9	12	13	20	13	17	117.7		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	309	208	167	138	163	163	84.7		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.15	0.10	0.15	0.10	0.15	0.10	0.15	0.10	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,361	1,361	1,361	1,361	1,361			
		非常勤職員分		千円	294	294	294	294	294			
	総事業費 + +		千円	1,964	1,863	1,822	1,793	1,818				
	単位あたりコスト ÷		円	1,772	1,669	1,656	1,709	1,653				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0			
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0	0			
		その他特定財源		千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	1,964	1,863	1,822	1,793	1,818					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		身近な地域で気軽に参加ができる良さがあり、登録者も1000人を越える程になった。学生の団体登録以外には、地域住民との直接の信頼関係を基に活動に参加している人が多い。危機管理が重要となっている現在は、地域住民とのつながりのない活動希望者に対しては、住所や活動動機等の確認はもちろんのこと、適切な活動してもらえよう働きかけが一層重要となっている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		子どもと知り合えて楽しかった、自分の趣味や技術を生かさせてよかった、我が子以外の子どもに接して子どもに対する理解が広がった、講座は技術向上に役立った、障害児と接している子ども達がいるのがよかった、地域の親や子と知り合えて挨拶されると嬉しい、どこでどんな活動に参加できるのか具体的な情報が欲しい等意見、要望が寄せられた。									
	今後の予測		子どものための活動を支えるだけでなく、若い親の子育てを支える地域ボランティアが必要となってくる。									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		小菅村交流キャンプ				整理番号	393		細番号							
所属部課名	保健福祉部・児童青少年センター			コード	094410		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	404					
係名 子育て推進係					上位施策名					NO						
予算事業名 児童青少年センター運営					コード	39420		子どもの育成環境の整備					28			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 63年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業											
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 12年度				(1) 杉並区児童青少年センター及び児童館事業運営要綱											
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区母親クラブ連絡会				(2) 杉並区後援名義等の使用承認事務取扱要綱											
					(3)											
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 杉並区母親クラブ連絡会主催のキャンプに、職員派遣を行い、レクリエーションやキャンプファイヤーなどのプログラム指導にあたる。					活動指標名(式)										
					(1) キャンプ応募者数											
					(2) キャンプ参加者数											
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 杉母連が、キャンプ実施の力量を高める。参加した子どもの中からジュニアリーダーが育つ。					成果指標名(式)											
					(1) キャンプ参加者のうち、翌年ジュニアリーダーとして参加した人数											
					(2)											
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 職員派遣によりプログラムの充実が図られ、子ども達の満足度が高まった。																
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度		目標値	目標値に対する12年度の達成率%				
							計画	実績	計画		年度					
指標	活動指標(1)		人	195		177		140		134		0	0	95.7		
	活動指標(2)		人	74		66		70		72		0	0	102.9		
	成果指標(1)		人	4		3		2		6		0	0	300.0		
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	52		46		33		42		42	0	127.3		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10	0.00	0.07	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00	0.00	0.00	特記事項 主催者である杉並区母親クラブ連絡会の事業休止決定が、13年2月であったため、区では13年度予算を計上している。		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	907		635		1,361		1,361		0			
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 ++		千円	959		681		1,394		1,403		42				
	単位あたりコスト ÷		円	4,919		3,848		9,957		10,470						
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0			
		国・都からの支出金		千円	0		0		0		0		0			
		その他特定財源		千円	0		0		0		0		0			
		特定財源計 ++		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	959		681		1,394		1,403		42					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		S63年度に、区と杉並区母親クラブ連絡会が共催で開始したものを、H7年度からは区は後援として職員派遣、職員参加費負担を行ってきた。しかし、H13年度は、会員の負担が大きく担いきれないこと、連絡会として18母親クラブ相互の連携強化を重点にするとの考えから、杉母連がキャンプ中止を決めたため、区の支援も行わない。													
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		楽しかった、また参加したい、小学3年生から参加できるキャンプは他にない、小菅村の子どもと交流ができて良かった等。													
	今後の予測		杉母連は、これまでのボランティアとの協力関係の継続、キャンプ技術の研修のため、会員の親子参加事業としてキャンプを実施するが、現段階では区への支援依頼は行わない意向。													

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		0394児童青少年センター事業				整理番号	394		細番号					
所属部課名		保健福祉部 児童青少年センター		コード	094407		連絡先電話番号	3393-4760		昨年度整理番号	406			
係名 事業係				上位施策名				NO						
予算事業名				児童青少年センター運営		コード	39420		子どもの育成環境の整備		28			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 児童福祉法第1~4、7、35、40条									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在住・在学中・高校生				(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則									
					(3)									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 中・高校生の自主的、主体的な自己実現を進めるプログラムを実施する。中・高校生が主体となって、事業の企画・運営を行う。				活動指標名(式)									
					(1) 講習会開催回数および自主企画実施回数 (2) 自主企画スタッフ数									
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 中・高校生の自主的余暇活動を支援し、交流の場を提供する。また、事業の企画・準備・運営を通して、中・高校生の主体性や自主性を育てる。				成果指標名(式)										
				(1) (代)講習会参加者数および自主企画参加者数 (2) 自主企画スタッフ数÷自主企画事業数										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 中・高校生の自主性、主体性を育てることで、中・高校生の健全育成に貢献している。														
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度		目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
							計画	実績	計画	14年度				
指標	活動指標(1)		回	309		393		385		390		390	100.0	
	活動指標(2)		数	276		240		300		374		350	106.9	
	成果指標(1)		数	4337		4140		3700		4538		3700	122.6	
	成果指標(2)		数	27.6		48		70		124.7		100	124.7	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,613		5,485		4,782		4,654		4,751	98.0	
	職員数(正規   非常勤)		人	9.43	7.00	9.13	7.00	10.85	7.00	10.35	7.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	85,558		82,836		98,442		93,906		98,442		
		非常勤職員分	千円	20,573		20,573		20,573		20,573		20,573		
	総事業費 + +		千円	110,744		108,894		123,797		119,133		123,766		
	単位あたりコスト ÷		円	358,396		277,085		321,551		305,468		317,349		
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0	
		国・都からの支出金		千円	0		0		0		0		0	
		その他特定財源		千円	0		0		0		0		0	
		特定財源計 + +		千円	0		0		0		0		0	
差引:一般財源 -		千円	110,744		108,894		123,797		119,133		123,766			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		杉並区の13~18歳人口 昭和61年 39815人、平成9年 26085人、平成12年 24206人、平成13年 23680人。センター利用者数 平成9年度 44387人、平成10年度 68096人、平成11年度 68278人、平成12年度 64266人。人口が年々減少しているのに対し、利用率は260%~280%である。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		中・高校生からは、次のような意見が寄せられている。バンドやスポーツ・ダンス等好きな活動ができる。自由な時間が過ごせる。サポートしてくれる大人がいて良い。人には言えないことも気軽に相談できた。中・高校生のボランティア活動も進めてほしい。中・高校生が自主的に行える事業があるので、やりがいがある。											
	今後の予測		中・高校生の要望が多様化する。中・高校生の区内での活動拠点として、自己実現を図る場所として、ますます重要な役割を担うと予測される。											

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		0395子ども家庭支援センター		整理番号	395	細番号		
所属部課名		保健福祉部・児童青少年センター		コード	094410	連絡先電話番号	4402	
係名		子育て推進係		上位施策名			NO	
予算事業名		児童青少年センター運営		コード	39420	地域子育て支援の充実	26	
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		9年度		根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		●無 ○有		平成 年度		(1) 児童福祉法第1～4、7、35、40、45条	
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同条例施行規則			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		子ども自身（小学生～高校生）、及びすべての子どもがいる家庭、区内の児童福祉に関わる地域団体、関係行政機関		(3) 杉並区子ども家庭支援センター事業実施要綱			
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		子どもと家庭のことで困ったときの助けを求めたり、地域の子育て支援のために自分の力を提供できるようにする。		活動指標名(式)			
				成果指標名(式)				
				(1) 相談件数				
				(2) 地域子育てネットワーク事業実施回数				
				(1) 1日あたりの相談件数				
				(2) 地域子育てネット事業の1回あたりの参加者数				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか								
子ども自身と親の不安を軽減し、子育てを楽しいものにし、支援が必要な家庭へ関係機関が連携して対応を図ることができる。								

区分	単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%
		計画	実績	計画	実績	計画	実績		17	年度	
指標	活動指標(1)	件	477	729	720	780	800	1,000	78.0		
	活動指標(2)	回	62	974	1,000	1049	1100	1,200	104.9		
	成果指標(1)	件	2	3	3	3	3	4	100.0		
	成果指標(2)	人	167	51	55	55	55	55	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	7,027	6,710	6,284	5,669	7,139	8,515	66.6		
	職員数(正規 非常勤)	人	1.40	0.40	1.40	0.40	1.30	0.40	1.30	0.40	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	12,702	12,702	11,795	11,795	11,795			
		非常勤職員分	千円	1,176	1,176	1,176	1,176	1,176			
	総事業費 ++	千円	20,905	20,588	19,255	18,640	20,110				
	単位あたりコスト ÷	円	43,826	28,241	26,742	23,897	25,137				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0			
		国・都からの支出金	千円	9,630	9,862	9,700	9,186	9,670			
		その他特定財源	千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 ++	千円	9,630	9,862	9,700	9,186	9,670			
差引:一般財源 -		千円	11,275	10,726	9,555	9,454	10,440				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	杉並区内の0～17歳の子ども数は、平成9年度 65,550人から、平成11年度 63,017人に減少している。杉並児童相談所で受けた杉並区分の相談件数は、平成9年度596件(うち虐待通告25件)から、平成12年度747件(うち虐待通告49件)へ増加している。虐待を始めとする要支援家庭が増えている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	話して気持ちが楽になった。思春期の難しさや親のイライラを話すことで冷静さを取り戻すことができた。医療機関等の紹介により早めの対応ができた。子どもに手をあげてしまいそうときに電話をかけることで思いとどまれた。親自身の人間関係のストレスを聞いてもらってよかった。子どもの気持ちを違う角度から考えることができた。病気や出産時、子どもショートステイがあつて助かった。などの意見・要望が寄せられた。									
	今後の予測	多くの困難要因(強い育児不安、親の精神疾患、子どもの障害、ひとり親、経済的困窮、高齢者介護等)を抱えた家庭が増加し、関係機関の連携した対応が求められていることが多くなる。									



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国内交流事業				整理番号	397		細番号				
所属部課名		保健福祉部 児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	3393-4760		昨年度整理番号	412		
係名				管理係				上位施策名			NO		
予算事業名				児童青少年センター運営		コード	39420		交流と平和の推進			70	
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		1		年度				
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成		年度				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	区内在住・在学の 小学4～6年生（吾妻30名、風連夏25名） 中学生（風連冬25名）				(1) 杉並区都市交流実施要綱 (2) (3)								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)								
風連・吾妻を中心に友好都市の児童と共に、班ごとに活動、東京探検、しばれ体験等の事業及び長崎西彼町との一日交流を実施する。				(1) 参加者人数  (2)									
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)									
子ども同士の交流を通して、交流都市の文化・生活・風土等の理解を深めることにより、子どもの人間的成長を高める。				(1) 応募者人数  (2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
吾妻町・風連町の交流を、子どもの面から図っている。													
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%				
				計画	実績		14	年度					
指標	活動指標(1)		人	84	85	80	75	80	80	93.8			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		人	152	148	0	144	0	0				
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,925	5,832	5,462	4,830	4,977	4,977				
	職員数(正規 非常勤)		人	1.80	0.00	1.79	0.00	1.75	0.00	1.20	0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	16,331	16,241	15,878	11,341	10,888				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	22,256	22,073	21,340	16,171	15,865					
	単位あたりコスト ÷		円	264,957	259,678	266,747	215,617	198,308					
	財源	受益者負担分		千円	1,510	1,510	1,300	1,190	1,300				
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0	0				
		その他特定財源		千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計 ++		千円	1,510	1,510	1,300	1,190	1,300				
差引:一般財源 -		千円	20,746	20,563	20,040	14,981	14,565						
受益者負担比率 ÷		%	6.8	6.8	6.1	7.4	8.2						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		応募者人数 平成11年度 148人、平成12年度 144人。平成12年度から吾妻・杉並の隔年実施になり、杉並実施への平成13年度は応募者が減少した。										
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）		参加した児童の保護者からは、多くの友達ができ、プログラムも充実したもので良かった、との評価を得ている。貴重な体験ができたことに感謝の声が多く寄せられている。また、これからも交流を続けていってほしいとの要望もある。										
	今後の予測		交流に参加した子どもが、大人になってからボランティアとして参加したり、あるいは、事業への協力等継続した交流がみられる。文化交流課との連携を図り、成長した参加者が大人の交流事業へ参加する等、子ども時代からの交流が発展する可能性がある。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		0398児童館維持管理及び運営				整理番号	398		細番号	
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	3393-4760		
係名		管理係		上位施策名				NO		
予算事業名		児童館運営		コード	39600		子どもの育成環境の整備		28	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		41 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 児童福祉法第35条、40条			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例					
	児童館及び学童クラブ		18歳未満の児童及び保護者		(3) 杉並区立児童青少年センター及び児童館処務規定					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		施設維持管理における契約事務、履行確認、支払事務 施設運営における事務用経費の執行事務				活動指標名(式)			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		児童の健全育成を実現させる観点から、適切な維持管理等により施設の有効利用と耐用年数の向上を図り、区民が安心して利用できる施設とする。				成果指標名(式)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		施設の安全性、利便性、快適性の向上に努めることは、子どもの育成環境の整備に直結することとなる。								
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
指標	活動指標(1)	㎡	24,710.88	24,710.88	24,710.88		24,710.88	24,710.88	100.0	
	活動指標(2)	人	1,051,474	1,006,108	1,167,000		1,018,376	1,167,000	87.3	
	成果指標(1)	件	186	177	115		178	176	101.1	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	303,487	306,942	268,653		260,948	272,089	95.9	
	職員数(正規   非常勤)	人	109.40   38.50	108.61   38.50	110.00   39.20		102.80   39.20	98.69   39.20	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	992,586	985,419	998,030		932,704		895,414
		非常勤職員分	千円	113,152	113,152	115,209		115,209		115,209
	総事業費 + +	千円	1,409,225	1,405,512	1,381,892		1,308,861	1,282,712		
	単位あたりコスト ÷	円	57,029	56,878	55,922		52,967	51,909		
	財源	受益者負担分	千円	11	8	74		3		148
		国・都からの支出金	千円	0	0	0		0		0
		その他特定財源	千円	0	0	0		0		0
		特定財源計 + +	千円	11	8	74		3		148
差引:一般財源 -	千円	1,409,214	1,405,504	1,381,818		1,308,858	1,282,564			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在):昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年=41館								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設設置から30年以上経過しているものもあり、外壁の汚れ、屋上防水の劣化による漏水、床材や内壁等の剥離、また、設備面では、排水管の詰まりによる悪臭、空調設備が充足していないことによる室温の問題といった不具合が生じており、それらに対する苦情・指摘等を受けている。								
	今後の予測	施設維持管理の面では、順次古い館からの建替えまたは大規模修繕が必要となる時期が逼迫していると思われる。現在経年的に実施している管繕工事の予算では適正な施設維持は困難である。また、運営面では、事務用備品の老朽化により(電子複写機など)事務の適正な遂行に支障を来す恐れがある。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童館事業				整理番号	399		細番号				
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	3393-4760		昨年度整理番号	414		
係名				管理係				上位施策名		NO			
予算事業名				児童館運営		コード	39600		子どもの育成環境の整備		28		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		41 年度		根拠法令等					<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 児童福祉法第35条、第40条						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		18歳未満の児童及び保護者		(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例						
							(3) 杉並区立児童青少年センター及び児童館処務規定						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）						活動指標名(式)						
自由利用、定例活動（工作・調理等）、小型特別行事（スポーツ大会・遠足・講演会等）、大型特別行事（まつり・キャンプ等）、子育てネットワーク事業（地域連携・相談業務・シンポジウム等）・幼児グループ等による子育て支援活動						(1) 児童館年間延べ行事実施回数							
						(2) 児童館年間延べ行事参加者数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						成果指標名(式)							
児童館事業を通じて、児童の自主性・創造性が生まれ、健やかに成長する。また、保護者が安心して子育てができています。						(1) 行事参加率（年間行事参加者数 ÷ 年間児童館利用者数）							
						(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
児童館事業をととして児童の健全育成に貢献する。また、子育てに対する支援策を充実させることにより、安心して子育てができる環境の整備を行う。													
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%				
				計画	実績		14年度						
指標	活動指標(1)	回	14,430	13,767	11,215	11,059	10,888	10,888	98.5				
	活動指標(2)	人	314,010	306,698	350,100	283,801	350,100	350,100	81.1				
	成果指標(1)	%	29.9	30.5	30	27.9	30	30	93.0				
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	30,892	34,204	29,244	24,037	31,180	31,180	77.1			
	職員数(正規   非常勤)		人	44.97   16.50	44.64   16.50	45.20   16.50	40.50   16.80	38.59   16.80	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	408,013	405,019	410,100	367,457	350,127					
		非常勤職員分	千円	48,494	48,494	48,494	49,375	49,375					
	総事業費 + +		千円	487,398	487,716	487,837	440,869	430,682					
	単位あたりコスト ÷		円	33,777	35,426	43,499	39,865	39,556					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0				
		国・都からの支出金		千円	4,592	1,750	0	1,750	0				
		その他特定財源		千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計 + +		千円	4,592	1,750	0	1,750	0				
差引:一般財源 -		千円	482,806	485,966	487,837	439,119	430,682						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		児童館設置数(各年12月31日現在):昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年=41館 18歳未満児童数(各年1月1日現在):昭和61年=98,222人、平成2年=84,706人、平成7年=69,662人、平成12年=62,023人										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		既存事業のなかで、幼児活動及び子育て相談をはじめとする子育て支援事業、いじめ・不登校など子ども自身が抱えている問題に対する相談、中高生事業や調理・スポーツ活動など子ども主体の行事など時代の変化に対応した事業に対する高い評価を得ている。また、保護者や地域の方々からの要望として、地域における子育て支援の拠点としての充実が求められている。										
	今後の予測		子育て、虐待、いじめなど子どもを取り巻く問題に対応する事業の拡充が必要である。また、児童の健全育成の観点から、各種行事をととして児童一人ひとりの自主性・自立性を高めるための指導が必要となる。										



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		母親クラブ活動助成費				整理番号	400		細番号	415		
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094410		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	415	
係名 子育て推進係				上位施策名				NO				
予算事業名		児童館運営		コード	39600		地域子育て支援の充実				26	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		52年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 厚生省通達「国庫補助による地域組織活動要綱」					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区母親クラブ運営基準							
	区内の住民、近隣地域を単位に30人以上の母親で構成され、児童館と有機的連携を持つ団体。19団体、会員総数約550名。		(3) 杉並区母親クラブ活動費補助要綱									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)							
母親としての資質の向上と地域の子どもの健全育成を図る母親クラブの活動を、財政的に支援する。				(1) 活動助成件数								
				(2)								
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)								
会員相互の協力関係が深まり、地域での子育ての支え合いが進むとともに、地域活動に積極的に参加するようになる。				(1) 母親クラブ主催事業参加者数								
				(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
地域の子どもと大人と一緒に多彩な事業を体験し、交流を深めることで、健全育成と子どものための地域づくりを推進できる。												
区分	単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度		目標値		目標値に対する12年度の達成率%
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	15年度	16年度			
指標	活動指標(1)	団体数	23	21	21	19	21	18	105.6			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	人	44,919	46,239	41,800	31,813	32,000	39,600	80.3			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	5,060	4,600	1,000	900	1,000	1,250	72.0			
	職員数(正規 非常勤)	人	0.80	0.50	0.79	0.50	0.55	0.50	0.55	0.50	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,258	7,168	4,990	4,990	4,990				
		非常勤職員分	千円	1,470	1,470	1,470	1,470	1,470				
	総事業費 ++	千円	13,788	13,237	7,460	7,360	7,460					
	単位あたりコスト ÷	円	599,474	630,341	355,221	387,350	355,221					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0				
		国・都からの支出金	千円	0	0	0	0	0				
		その他特定財源	千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	13,788	13,237	7,460	7,360	7,460					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	母親クラブ数は、S52年度に8団体に活動開始し、H9年度に24団体と最高団体数を数えた。しかし、組織運営に対する負担感から新規会員の拡大が進まず、平成13年度には18団体となった。H12年度に補助金額が大きく減額されたが、地域の子ども達に還元できるような事業の工夫を行なっている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	助成金の減額で劇上演、もちつきなど予算が大きくかかるものの実施が難しくなった。参加費をとってミニコンサートや人形劇を児童館で実施できないのか。パザーなどで活動費を捻出したい。若い親を会員にしたいが難しい。新米ママと話合いの場があり良かった。等										
	今後の予測	地域での子育て支援をすすめるために先輩ママとして、区民自身による地域交流の主体者として母親クラブ会員に対する期待は増してくる。しかし、組織運営に対する負担感の大きさから会員の拡大は難しい状況にある。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学童クラブ施設維持管理及び運営			整理番号	401		細番号		
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	94401		連絡先電話番号	3393-4760		
係名		管理係		上位施策名				NO		
予算事業名		学童クラブ運営		コード	39800		子どもの育成環境の整備		28	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		39 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 児童福祉法第6条			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例					
	運営においては、区内在住・在学の小学一年生から四年生までの児童と六年生までの障害児。		(3) 杉並区学童クラブ事業運営要綱							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		区内46学童クラブにおいて、共働き等により留守家庭となる児童に日常活動を通じ、集団生活の中で自主性・協調性を促すよう、援助指導を行う。また、障害児の巡回指導を行う。		活動指標名(式)					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		共働き等により留守家庭となる児童に対し、下校後の保育の場を提供し、児童の安全確保、知識や経験等を深める機会をつくる。		成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		保護者が安心して働くことのできる環境を提供するとともに児童の健全育成を図ることができる。								

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		14年度	年度			
指標	活動指標(1)	人	1937	1983	2000	2019	2100	2100	96.2		
	活動指標(2)	箇所	32	34	34	34	33	33	103.0		
	成果指標(1)	%	95	93	100	92	100	I	92.0		
	成果指標(2)	%	16	17	17	18	18	18	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	90,818	102,230	105,683	108,014	106,798	106,798	101.2		
	職員数(正規・非常勤)	人	69.18	5.00	68.68	5.00	66.70	5.00	66.70	5.00	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	627,670	623,134	605,169	605,169	605,169	特記事項 過去3年間学童クラブ待機児童数(各年4月1日現在) 平成10年度 19名 平成11年度 38名 平成12年度 42名		
		非常勤職員分	千円	14,695	14,695	14,695	14,695	14,695			
	総事業費 ++	千円	733,183	740,059	725,547	727,878	726,662				
	単位あたりコスト ÷	円	378,515	373,202	362,774	360,514	346,030				
	財源	受益者負担分	千円			20,551	19,621	40,000			
		国・都からの支出金	千円								
		その他特定財源	千円								
		特定財源計 ++	千円	0	0	20,551	19,621	40,000			
差引:一般財源 -		千円	733,183	740,059	704,996	708,257	686,662				
受益者負担比率 ÷	%			2.8	2.7	5.5					

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	学童クラブ入会者数 平成8年度:1,759人、平成9年度:1,870人、平成10年度:1,937人、平成11年度:1,983人、平成12年度:2,019人。対象児童数の減少動向にも関わらず、入会希望者数及び入会者数は増加傾向にある。その対策として、第二学童クラブ施設改修による定員増、午後6時までの育成時間延長を実施してきた。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	希望者の全員入会、保育時間の延長、障害児受入(人数、中学生)の拡大、学校への迎えを行ってほしいという要望がある。
	今後の予測	共働き世帯、ひとり親世帯の増加等により、入会児童数は年々増加傾向にあり、このまま推移していくと5年から6年後には、現在の定員で対応できなくなる可能性がある。ただし、少子化傾向とあわせて予測した場合は、増加率が減少していくことも考えられる。また、通学区域弾力化による需要偏在は現時点では予測できない。

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学童クラブ事業				整理番号	402		細番号			
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	94401	連絡先電話番号	3393-4760		昨年度整理番号	417		
係名 管理係				上位施策名				NO				
予算事業名 学童クラブ運営				コード	39800	子どもの育成環境の整備				28		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 39 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 児童福祉法第6条							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 運営においては、区内在住・在学の小学一年生から四年生までの児童と六年生までの障害児。				(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 区内46学童クラブにおいて、共働き等により留守家庭となる児童に集団生活の中で自主性・協調性を促すよう、援助・指導を行う。その援助の一つとして、歓迎会や誕生日会などを実施する。				(3) 杉並区学童クラブ事業運営要綱							
	活動指標名(式) (1) 入会児童数 (2) 学童クラブの事業実施回数				意図（対象をどのような状態にしたいのか） 集団生活の楽しさを体験するとともに、知識や経験、社会性等が高まる。							
成果指標名(式) (1) 学童クラブ出席率 (2) 事業参加人数				意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 保護者が安心して働くことのできる環境を提供するとともに児童の健全育成を図ることができる。								
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%			
					計画	実績		14 年度				
指標	活動指標(1)		人	1937	1983	2310	2019	2325	2325	86.9		
	活動指標(2)		事業	1177	1183	1200	1218	1200	1200	101.5		
	成果指標(1)		%	72	79	90	74	90	90	82.3		
	成果指標(2)		人	38531	40196	40000	40569	40000	40000	101.5		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	955	267	830	198	830	830	23.9		
	職員数(正規・非常勤)		人	28.99	1.00	28.79	1.00	28.10	1.00	28.10	1.00	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	263,026	261,212	254,951	254,951	254,951	254,951			
		非常勤職員分	千円	2,939	2,939	2,939	2,939	2,939	2,939			
	総事業費 ++		千円	266,920	264,418	258,720	258,088	258,720				
	単位あたりコスト ÷		円	137,801	133,342	112,000	127,830	111,278				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都からの支出金		千円								
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	266,920	264,418	258,720	258,088	258,720					
受益者負担比率 ÷		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		学童クラブ入会者数 平成8年度:1,759人、平成9年度:1,870人、平成10年度:1,937人、平成11年度:1,983人、平成12年度:2,019人。少子化にも関わらず、長引く不況や社会環境の変化により、共働き世帯やひとり親世帯が増加し、学童クラブの需要は大きくなっている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		遠足等、外遊びの機会や入会児童以外の児童との交流する機会など事業内容の質の向上を求める声と共に、保育時間の延長や、短期あるいは一時入会など、柔軟な対応を求める声も大きくなっている。									
	今後の予測		ひとり親世帯等、困難な家庭状況を抱える児童の増加により、個別かつ丁寧な援助・指導が求められること予測される。また、入会希望者数自体も女性の社会進出や離婚率の増加等により増えることが予測される。									